

林野庁予算への反映状況

国産木材活用P Tの活動が確実に国予算へ反映

＜林野庁 令和3年度補正予算案及び令和4年度当初予算案に盛り込まれた主な内容＞

＜R3補正＞木材産業国際競争力・製品供給力強化緊急対策 495億円

- 加工施設の大規模化・高効率化等を支援するほか、これらの加工施設へ原木を低コストで安定的に供給
- 路網整備、高性能林業機械の導入、搬出間伐、再造林、エリートツリー等の苗木の生産施設整備等の取組を支援
- 木材製品の消費拡大や新技術の実証とともに、木材製品等の輸出拡大に向けた取組等を支援

＜R4当初＞林業・木材産業成長産業化促進対策 75億円

- 搬出間伐、主伐と再造林を一貫して行う施業、路網の整備・機能強化、高性能林業機械の導入、コンテナ苗生産基盤施設、木材加工流通施設や木造公共建築物の整備等、川上から川下までの取組を総合的に推進

＜R4当初＞建築用木材供給・利用強化対策事業 13億円

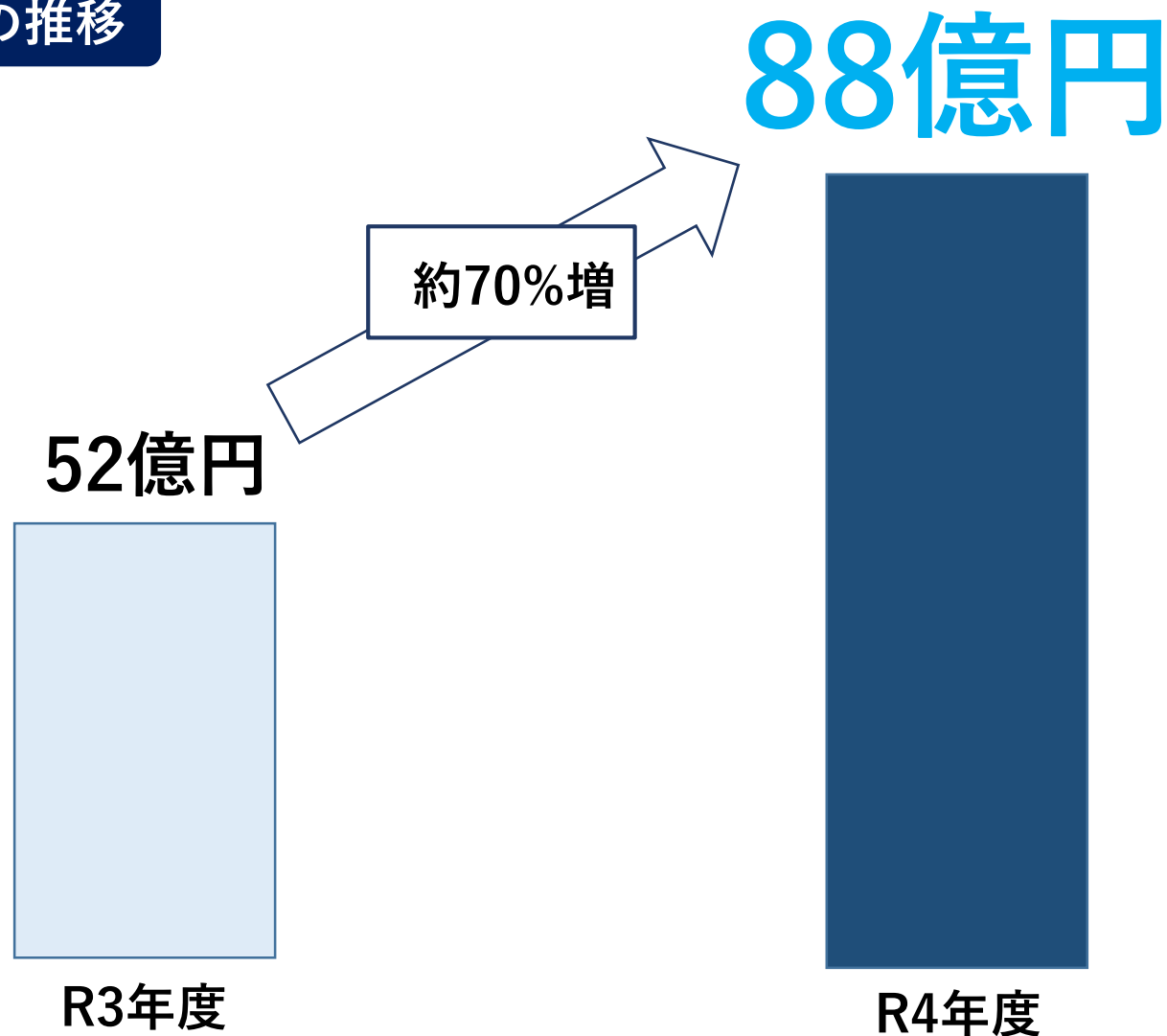
- 建築用木材の利用の実証への支援や大径材活用に向けた技術開発等への支援、製材やCLT（直交集成板）・LVL（単板積層材）等の建築物への利用環境整備を支援
- 川上から川下までの需給情報の共有を図るとともに、地域ごとの生産・流通における課題を解決するための独自の取組を支援し、建築用木材の安定的・効率的な供給体制を強化

＜R4当初＞非住宅建築物等木材利用促進事業【新規】 1億円

- 生産性向上等の木材利用の効果の実証等による木の効果が見える化する取組、簡易な構造物等の木造化・木質化促進のための普及に向けた取組を支援
- 木造非住宅建築物の整備に係る専門家派遣等を行う取組に対して支援

令和4年度東京都予算案（国産木材関係）

国産木材関係予算の推移



東京都財務局「令和4年度 東京都予算案の概要」より作成

令和3年度比で約70%増の88億円を計上

令和4年度新規・拡充事業（国産木材関係の一部）

木材利用ポイント事業

2億円【新規】

多摩産材など国産木材を使用し、かつ東京ゼロエミ住宅認証を取得した住宅に対し、東京の特産物等と交換できるポイントを付与



林業先進技術導入事業

4億円【新規】

先進技術を活用した林業機械等を導入するための検証調査及び支援



林業機械化促進事業

1億円【新規】

林業先進技術導入事業で検証された先進技術をはじめとした林業機械の整備に係る費用の一部を助成

中・大規模建築物の木造木質化支援事業 25億円【拡充】

中・大規模建築物の木質化推進に向け、設計費用と施工費用への支援を実施

木造木質化建築物の整備イメージ



都有施設における木塀の設置

令和3年度末までに都有施設45箇所にも木塀を設置予定

【R1年度：14箇所】

都立国立高校



駒沢オリンピック公園（弓道場）



・・・etc

【R2年度：16箇所】

⇒合計30箇所

墨田五丁目運動広場



都立青山高等学校



・・・etc

【R3年度：15箇所（予定）】

⇒合計45箇所（予定）

水道局目黒営業所



都立豊島高校



・・・etc

今後も施設の改築等の機会を捉え、都有施設における木塀の設置を積極的に実施

MOCTIONの実績

令和2年12月の開設以来、昨年末時点で7,484名が来場



【ご参考：展示自治体（予定も含む）】

北海道・青森県・山形県・福島県・栃木県・群馬県・埼玉県・
新潟県・大阪府・和歌山県・鳥取県・徳島県・愛媛県・高知県